

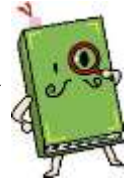
# 学習課題（小学校3年生）



【国語】 計画を立てて、少しずつ取り組んでいきましょう。

〈学習内容〉 ※ノートか取組シートに書きましょう。  
 ◆「モチモチの木」（教科書⑩122～136 ページ）に取り組めます。

「モチモチの木」とは、どんな木なのでしょう。この物語には、「豆太」という男の子が出てきます。「豆太」はどんな人物でしょうか。（今回と次回で「モチモチの木」を学習します。）



- (1) 全文を音読しましょう。
- (2) 五つの場面ごとに、「豆太」と「じさま」の行動や会話、様子をまとめましょう。
- (3) 五つの場面ごとに、「じさまや語り手から見た豆太」「豆太や語り手から見たじさま」をまとめましょう。

## 〈まとめ方のれい〉

弱虫でも、やさしけりゃ	豆太は見た	霜月二十日のばん	やい、木い	おくびょう豆太	場 面
				・夜中には、じさまについてもらわな いと、……。	豆太 登場人物の行動や会話、様子
				・ぐっすりねむっている真夜中に、豆太が……。	じさま
				・豆太ほどおくびょうなやつはない。 もう五つにもなったんだから……。	じさまや 語り手から 見た豆太
				・とうげのりょうし小屋に、自分とたった二人で……。	豆太や 語り手から 見たじさま

※上のひょうのようにまとめたとき、場面の中に書かれていないものがあるときは、空らんになることがあります。

**【書写】**

＜漢字の組み立て ～部分の組み立て方～＞

**～左右の部分でできている漢字の書き方～**

左右の二つの部分でできた漢字は、それぞれの部分のはばをせまくすると字形がととのいます。

- (1) 教科書 30 ページにある「晴」と、「日」「青」のはばのちがいをたしかめましょう。
- (2) 教科書 31 ページを、左右の部分のはばに気をつけて書きましょう。
- (3) 教科書 31 ページにある「へん」を使っている漢字をさがして、左右の部分のはばに気をつけて書きましょう。

＜文字の配列 ～行の中心～＞

**～行の中心～**

言葉や文を書くときは、文字の中心をそろえると、行がととのって、読みやすくなります。

文字の中心は、「たて画」や「点」、「画と画がつくところ」、「よこ角のまん中」などを目安にします。



- (1) 教科書 32 ページにある㊦と㊧では、どちらが読みやすいでしょう。理由も合わせて考えましょう。
- (2) 次の言葉を、行の中心をたしかめながら、書きましょう。  
・**図工室** ・**立冬** ・**日本** ・**岩山**

＜文字の配列 ～<sup>よこ</sup>横書きの書き方～＞

**～横書きの書き方 2つの方ほうがあります～**

- ① 行の中心に、文字の横の中心をそろえるよう、上の線と下の線のまん中に、まっすぐ書きます。
- ② 文字の下部分を、下の線にそろえるよう書きます。下の線との間は、少し空けます。

- (1) ①と②の方法で、それぞれ教科書 33 ページの「家が多い所には、消火せんなど、…」の文を書きましょう。

### ＜言葉を楽しもう＞

- (1) 教科書36ページのはいくをなぞりましょう。  
※「止め」「はね」「はらい」に注意し、行の中心をたしかめながら書きましょう。



### ◆教科書95～112 ページの新出漢字（「研」～「反」）を練習します。

- (1) 156 ページを見て、ひつじゅんを指で書いておぼえましょう。
- (2) 読み方、使い方を声に出して言ってみましょう。
- (3) 出てきた漢字を使って、文を作り、ノートに書きましょう。

### ＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・「モチモチの木」では、登場人物について、複数の視点から考え、場面の移り変わりと結び付けて登場人物の性格を捉えることを目指して学習します。
- ・おうちの方とこの物語について話すことで、文から性格や気持ちを表す言葉を見付けたり、思いや考えをまとめたりしやすくなりますので、お子さんの感じたことや考えたことをぜひ聞いてあげてください。今回と次回に分けて学習します。
- ・今回の書写は、硬筆に取り組みます。学習で書いた字と、これまでの学習で書いた字を比較することで、自分の成長を実感させることができます。